

剣道段位審査会実施における感染症拡大防止対策

1 段位審査会参加の要件

- (1) 審査員、受審者、役員は段位審査会2週間前から各自で健康チェックを行う。審査会当日に審査員、受審者、役員は必ず検温を行い、37.5℃以上または平熱より1℃以上高い場合には、受審することが出来ません。

2 健康状態の把握

- (1) 受審する生徒・役員は、日頃から検温・手洗い・うがいをこまめに行い、感染防止に努めてください。
- (2) 審査会当日の県立武道館内でも、手洗い・うがいをこまめに行ってください。また、トイレの蓋は閉めてから流すようにしてください。
- (3) 除菌・殺菌に関する用意はしますが、できるだけ各自での用意をお願いします。
- (4) 当日の朝、必ず検温を行い、37.5℃以上または平熱より1℃以上高い発熱がある場合は、剣道段位審査会の受審を控えてください。受審を控えてください。また、発熱がなくても息苦しさ（呼吸困難）やだるさ（倦怠感）等がある場合や同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合も同様とします。

3 会場の管理

- (1) 審査会当日の使用場所については、開放可能な窓・扉を開放し、換気に努めます。
- (2) 受審者は、会場では、常にマスクを着用し、関係者は、マスク及びフェイスシールドを着用してください。
- (3) 観客席の座席は、1席おきに「着席禁止・荷物を置くことは可」の表示をします。この席には座らず、表示のない座席に着席してください。荷物は、張り紙のある座席か、座席の下に置くようにしてください。
- (4) 1階主道場への入場は、審査員、受審する段位審査をおこなっている受審者、役員のみとします。
(三段男女は本部より1階主道場へ降りる受審者へ指示をします)
受審者、ひとりひとりの間隔を従来よりあける必要があるため、御協力をお願いします。
- (5) 審査場内では、受審者同士密集を避け、ソーシャルディスタンスをしっかりとってください。
- (6) 「実技」「日本剣道形」の審査終了後は、各自解散となりますので速やかに退館してください。

4 入場の制限

- (1) 県立武道館への入場は、審査員・受審者・役員のみとします。
※保護者、顧問、卒業生などの一般の入場は出来ません。
- (2) 入館時には2階の入り口にて、サーモグラフィを使用して検温を行います。
また、入場時及び武道館内ではもとより、自宅を出る際より必ずマスクを着用してください。
- (3) 館外で入場を待つ際は分かれて2列で並び、自分の前に防具を置くようにして、
ソーシャルディスタンスを保ってください。
- (4) 密集を避けるため、入場時間に対して早すぎる来館は御遠慮ください。

8月12日(水) 役員入場	8:00	審査会場準備
受審者入場	8:30	
出欠確認・受付番号決定	9:00	

※合格発表は、インターネットで埼玉県高校剣道専門部のホームページにて行います。
「実技」「日本剣道形」が終わりましたら、速やかな退館に努め、会場内が大人数にならないよう

御協力ください。

5 昇段審査実技試験について

- (1) 待機している時には、人と人の距離を（最低でも1メートル、できれば2メートル）を常に保つよう to してください。
- (2) 三段受審の男女は観覧席で待機し、指示のあった受審番号の受審者のみ1階主道場に降りるよう to してください。
- (3) 実技審査の際は、マスク（市販品もしくは全剣連推奨品）を着用してください。さらにマウスガードあるいはアイガード、もしくはその両方を装着した面を着用してください。日本剣道形の実技審査でもマスクは必ず着用してください。
- (4) 審査員・役員は実技審査の時もマスク・フェイスガードを着用したままで、立ち合いをお願いします。